

アイ・シーたんなんだより 公立丹南病院

2019年
夏号

Vol.55

地域包括医療推進部について

地域包括医療推進部長 北島 竜美



当院の基本理念に「地域に密着した、地域住民のための包括的医療の実践」を掲げており、その実現のためにいろいろな職種の職員が従事しています。各専門職集団で組織される医療・保健部門とし

て、①医局 ②医療技術部 ③看護部 ④事務部の4つの部門が開院当初からあります。さらに平成21年には、通所リハビリと訪問看護を統合した⑤在宅事業部が発足し、デイケアやデイサービス、居宅介護支援、訪問看護などの介護保険事業等を運営しており、包括的医療・在宅ケアを実践しています。その他に病院改築と時期を同じくして組織横断的に設置された部門として、⑥医療安全管理部（医療安全管理室と感染管理室からなる部門）と⑦病児・病後児保育部（鯖江市の委託を受け、乳幼児健康支援一時預かり施設として開設）があります。

そして今回紹介する⑧地域包括医療推進部が、平成28年9月1日に生まれました。当該部門は、次の3つの組織に分けられており、医師、看護師、理学療法士、社会福祉士、事務職員が所属しています。

8-1 地域医療連携室

包括的な医療を提供するため、地域の医療機関や介護関連施設との連携・調整・広報などを行う。患者さ

んの入院支援、病床管理、退院調整等のフロー・マネジメントを行う。

8-2 地域包括ケア病床管理室

地域包括ケア病棟の入院患者のリハビリテーションを通じて、在宅復帰を支援する。

8-3 がん・緩和医療推進室

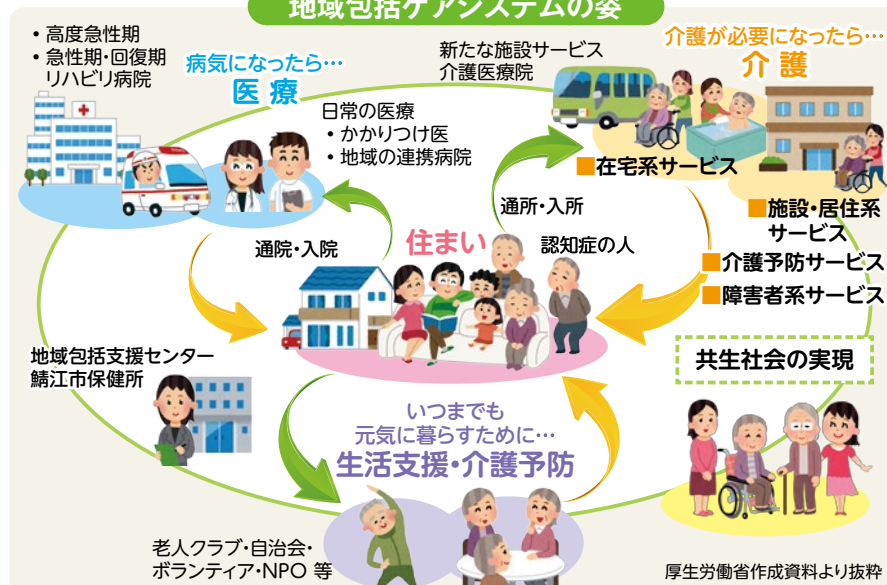
がん患者さんの緩和医療や職員教育、啓発活動などを行う。活動目標として、2025年から2040年に想定される超高齢社会の第一段階（団塊世代の多くが人生を卒業するまで）を乗り越えるための基盤やネットワークを築き上げる「地域包括ケアシステム」構築の一翼を担う地域資源の1つとして、高齢者や障害児・者、緩和ケアやさまざまな社会支援を必要とする方々のためにさまざまな側面からサポートしていきたいと考えています。

近隣の医療機関や介護関連施設と連携しながら、「ときどき入院、ほぼ在宅」の実現を目指し、一般急性期病棟と地域包括ケア病棟の効率的な病床管理と在宅生活復帰支援に努めていきます。皆さんも一緒に、「人人生会議」してみませんか。

地域包括ケアシステムの構成要素と考え方の変化



地域包括ケアシステムの姿



新任医師のご紹介

2019年4月より当院に着任されました、
新任医師をご紹介します。

麻酔科 藤林 哲男 先生

富山県富山市出身

前任地は福井大学麻酔科。
集中治療専門医としてICUを
中心に診療に当たってまいりま
した。ここ丹南では手術室の麻
酔が中心になると思いますが、患者様の安全は勿
論、手術での入院生活が快適になるよう努力する
所存です。よろしくお願い申し上げます。



産婦人科 高橋 仁 先生

神奈川県小田原市出身

卓球と写真、パソコンいじ
り、山登り(初心者)、その他、を
趣味としております。特技はエ
コーで胎盤と臍帯と胎児の顔
を見せることです。よろしくお
願いいたします。



泌尿器科 黒川 哲之 先生

福井市出身

小児から高齢の方までの尿
路に関するすべてに対応してい
きます。よろしくお願いいたし
ます。



脳神経外科 四方 志昂 先生

小浜市出身

地域の皆様の健康に少しで
もお役に立てるよう努めてまい
りますので、よろしくお願いい
たします。



内科 竹内 俊輔 先生

岐阜県土岐市出身

いろいろ回り道してきたので
医師歴の割に年をとっています
が、舞台をやったり調理師免許
を持っていたりとちょっと変
わった経歴です。たくさんの経験を通して守備範囲
の広い医師を目指して頑張ります。よろしくお願い
いたします。



内科 鈴木 崇仁 先生

永平寺町出身

4月より内科医として勤務さ
せていただいております。一般
内科をはじめ循環器疾患等幅
広く診療にあたっています。少
しでも地域の皆様に貢献できるよう頑張ってい
きたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいた
します。



総合診療科・内科 成山 美々 先生

福井市出身

「断らない救急」を目指して
頑張ります。どうぞよろしくお
願いいたします。



研修医 松田 航平 先生

越前町出身

今年3月に大学を卒業し医師
になったばかりです。見習い
ですが精一杯頑張りますので、
よろしくお願いいたします。



特定ケア 看護師 について

特定ケア看護師
木下 誠一



はじめまして、特定ケア看護師の木下誠一と申します。「特定ケア看護師」という名称は地域医療振興協会内での呼称であり、正式には「特定行為研修を修了した看護師」といいます。

「特定行為」とは、診療の補助であり、看護師が医師の作成した手順書に沿って行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされる行為です。しかし、特定行為を実践するだけではありません。知識を総動員して、訴えや病歴、身体所見から患者さんに起こっていることを考え、「迅速な医療を提供」する役割もあります。患者さんの一番近い位置にいる看護師だからこそ、異変にいち早く気づき、多忙な医師に代わり医療を提供することで、患者さんに

にとって良い結果に繋がると考えております。

このような制度ができた背景には、団塊の世代にあたる方々が75歳を迎える「2025年問題」が挙げられます。75歳以上の人口が全体の約20%を占める超高齢社会です。医師・病院数は減少の一途を辿り、75歳以上の6人に1人が在宅にて医療を受ける時代になっていくと予想されております。そういった時代の在宅医療を支える人材として、特定行為研修を修了した看護師の需要が高まっています。

今まで医師が行ってきたことを看護師が行うことに、不安を感じられる方もいらっしゃると思いますが、2年間の集中した研修において、特定行為を安全に行うための知識・技術・判断力をトレーニングしてきております。かつ、医師の指導の下で特定行為を行いますので、ご安心いただけたらと思います。

私自身、医師不足により迅速に医療が提供できない場面に直面し、何か自分にできることはないかという思いから、特定ケア看護師の研修に参加しました。

現在は卒後臨床研修として、医師の指導の下で医師と共に患者さんを担当させていただいております。まだまだ未熟ではありますが、1日も早く丹南病院の患者さん及び地域の方々に貢献できるよう頑張っております。今後とも宜しくお願いいたします。



公立 丹南病院

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31

公立 丹南病院

TEL:0778-51-2260 FAX:0778-52-8620
ホームページ: <http://www.jadecom.or.jp/jadecomhp/tannan/html/>
メールアドレス: tannan-info@jadecom.or.jp

公立丹南病院 在宅事業部

居宅介護支援事業所

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31

訪問看護ステーション

TEL:0778-52-2050 FAX:0778-52-2151
メールアドレス: tannan-zaitaku@jadecom.or.jp

通所リハビリテーションセンター
なごみの里

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31
TEL:0778-51-5234 FAX:0778-51-8242
メールアドレス: tannan-nagomi@jadecom.or.jp

通所介護
よつばの里

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31
TEL:0778-51-5411 FAX:0778-51-8242
メールアドレス: tannan-yotuba@jadecom.or.jp

